

# 国公有財産の最適利用プランの策定（和歌山県海南市）

～ 国の宿舎を活用した市の災害活動支援施設の提供 ～

## 最適利用の基本方針

海南市では、海南市庁舎は南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、高台に移転し、防災拠点づくりを進めているが、市庁舎及びJR海南駅を中心とする中心市街地の拠点施設に緊急参集し、初動活動を行う職員の居住施設の確保等が課題となっていた。

そのため、中心市街地に所在する海南合同宿舎の空き室を、南海トラフ巨大地震等に備えるため、地域住民が使用できる災害時の避難所・備蓄倉庫や、海南市の緊急参集職員の居住施設として、海南市へ使用許可を行うことで活用を推進し、地域社会のニーズである、災害時活動等の拠点づくりを支援し、行政財産の有効活用につながるよう最適利用を図るものである。

## 対象財産の概要

### ○海南合同宿舎

所在地 和歌山県海南市日方1274  
敷地 7,638.58㎡  
建物 平成24年築 鉄筋コンクリート造  
地上6階1棟、地上7階1棟  
延7,408.49㎡

## 対象（計画）期間

令和2年6月～ 海南市緊急参集職員の入居

## 庁舎等利用計画図

